

## 用語集

初出頁	用語	解説
1	気候変動	地球規模で起こる気候の変化。
3	パリ協定	気候変動に関する国際的な枠組みであり、地球温暖化の防止と適応策の促進を目指した合意。
4	生態系	生物とその環境との相互作用の仕組み。
6	国連気候変動枠組条約締約国会議（COP）	大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする、国際的な枠組みを定めた条約「国連気候変動枠組条約」（1992（平成4）年採択）に基づく締約国会議。
7	フロン類	フッ素と炭素の化合物の総称。エアコンや冷蔵庫の冷媒や断熱材等に使用されてきたが、オゾン層の破壊や大きな温室効果を持つことから、規制・転換が進められている。
7	カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出と吸収を実質ゼロにすることを目指す取組。
15	ハザードマップ	災害時に注意・警戒が必要な区域や、避難場所などを記した地図。
16	バイオマス発電所	バイオマスを燃料として利用する発電施設。
31	J-クレジット（カーボンクレジット制度）	排出量削減のための市場メカニズム。主に企業間で温室効果ガスの排出削減量を売買できる仕組みのこと。カーボンクレジット制度には様々な種類があり、国内の代表的なものに、環境省、経済産業省、農林水産省が運用している J-クレジットがある。
31	3R	Reduce（削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再資源化）を指す循環型社会の概念。
32	再生可能エネルギー	太陽光、水力、風力、地熱、バイオマスなどのエネルギー。有限な資源である化石エネルギー（石油、石炭等）と異なり、永続的に利用することができ、温室効果ガスを排出しない。

初出頁	用語	解説
36	ウォームシェア・クールシェア	各家庭や各部屋で冷暖房を使うのではなく、涼しい場所・暖かい場所に集まり「涼しさ・暖かさを共有する（シェアする）」ことで、使用する冷暖房の台数を減らし、節電及び二酸化炭素排出量の削減につながる取組。
36	うちエコ診断	家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、診断士が専用診断ソフトを用いて、ライフスタイルに合わせた「省エネ対策」を提案するもの。
36	環境ラベル	製品やサービスがどのように環境負荷低減に資するかを伝えるマークやシンボル。
36	カーボンフットプリント (カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム)	製品やサービスのライフサイクル全体（原材料調達から廃棄、リサイクル）を通じた温室効果ガス排出量をCO <sub>2</sub> に換算し、製品等に分かりやすく表示する仕組み。
36	エコリーフ環境ラベル	製品のライフサイクル全体を通じた定量的な環境情報を開示している製品に表示されるラベル。
39	フードマイレージ	食料の輸送量に輸送距離をかけた指標。
42	循環型社会	資源を繰り返し使い、廃棄物の削減を目指す社会の仕組み。循環型社会形成推進基本法で、製品等が廃棄物等となることが抑制され、製品等が循環資源となった場合においては適正に循環的な利用が行われることが促進され、循環的な利用が行われない循環資源については適正な処分が確保され、もって天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会をいう、と定義される。
42	アップサイクル	廃棄予定の不要なものに新たな付加価値を持たせ、新しい製品としてアップグレードする取り組み。
50	生物多様性	生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生物種の多様性や遺伝的多様性、生態系の多様性を指す。
50	生物多様性戦略（生物多様性地域戦略）	生物の多様性の保全や持続可能な利用に関する地方公共団体の基本的な計画。

初出頁	用語	解説
51	マイ・タイムライン	台風などの風水害から適切に避難できるよう作成する、住民一人ひとりの防災行動計画。
52	暑さ指数 (WBGT)	気温、湿度、輻射熱を考慮した暑さの指標。

---

北茨城市地球温暖化対策実行計画

令和7年3月

発行 北茨城市

編集 北茨城市 環境産業部 生活環境課

〒319-1592

茨城県北茨城市磯原町磯原 1630 番地

TEL 0293-43-1111 (代)

FAX 0293-43-1108

URL <https://www.city.kitaibaraki.lg.jp/>

---

# 北茨城市地球温暖化対策実行計画

2025 ▶ 2030



北茨城市